

2020 年 1 月 20 日

報道関係各位

一般財団法人 東京マラソン財団

公益財団法人 笹川スポーツ財団

特定非営利活動法人 日本スポーツボランティアネットワーク

東京マラソン財団×笹川スポーツ財団×日本スポーツボランティアネットワーク スポーツボランティア活動の推進に関する協定を締結

スポーツを「支える」楽しみを気軽かつ継続的に得ることができる文化の醸成を目指します

東京マラソン財団（東京都江東区 理事長：伊藤静夫）、笹川スポーツ財団（東京都港区赤坂 理事長：渡邊 一利 以下、SSF）および日本スポーツボランティアネットワーク（東京都港区赤坂 理事長：渡邊 一利 以下、JSVN）では、18 日、スポーツボランティア活動の推進に関する協定を締結いたしました。

当日は、東京マラソン財団理事長 伊藤静夫と SSF・JSVN 理事長 渡邊一利が締結書に署名する調印式のほか、東京マラソン財団・JSVN 共催のスキルアップ講習「スポーツボランティア研修会」をはじめ、東京マラソン財団主催の各種講習会や研修が行われました。

東京マラソン財団、SSF、JSVN の三者は、それぞれの資源を共有し、スポーツボランティア活動に参加しやすい体制作り、ひいては、スポーツを「支える」やりがいや楽しみを気軽かつ継続的に得ることができるスポーツボランティア文化の醸成のため協働してまいります。

◆伊藤 静夫 東京マラソン財団 理事長 コメント

2007 年に東京マラソンはスタートしたが、その際、ボランティア運営で SSF には大変尽力いただいた。2020 年という年にこのような連携をすることになり、とても意義深い。マラソンもエリートだけでなく、さまざまな人たちがさまざまな立場で楽しめることが重要だ。この 3 者の連携が継続的なボランティア活動の推進につながることを期待している。

また、今後、スポーツボランティアに限らず、さまざまな調査・研究においても連携していければと思っている。

◆渡邊 一利 笹川スポーツ財団／日本スポーツボランティアネットワーク 理事長 コメント

第 1 回大会から 3 年間、ボランティア運営のサポートをさせていただいた東京マラソンは、今や世界のメジャーマラソンに成長を遂げている。それはひとえに、東京マラソン財団のスタッフと大会を支えるボランティアの情熱と努力にほかならない。まさに日本を代表する国際的なスポーツ大会といえる。SSF・JSVN は「スポーツボランティア文化を日本に根付かせる」ために活動をしており、日本各地にその思いに賛同する団体とのネットワークを有している。そこに、東京マラソン財団が持つ強みを掛け合わせて、この活動を全国に広め、未来に継承したい。

【本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人 笹川スポーツ財団 広報チーム
TEL：03-6229-5300

東京マラソン財団 広報担当
TEL：03-5500-6639

東京マラソン財団・笹川スポーツ財団・日本スポーツボランティアネットワーク との相互協力に関する協定 概要



【具体的な活動】



東京マラソン財団・JSVNがVOLUNTAINER会員向けボランティア研修会を開催（2020年1月18日）



東京マラソン2020（2020年3月1日）に、「チームJSVN」として障害者を含むメンバーでボランティア活動に参加

その他、全国のマラソン大会に、ボランティアノウハウを提供予定

より多くの人たちがボランティアのやりがいや楽しみを知り、継続的なボランティア活動の機会が広がる取り組みを実施

スポーツボランティア活動の推進に関する協定 締結の様子

画像データが必要な場合は、笹川スポーツ財団 広報チーム（03-6229-5300）までご連絡ください。



(右から)

伊藤 静夫 一般財団法人東京マラソン財団
理事長

渡邊 一利 笹川スポーツ財団／日本スポーツ
ボランティアネットワーク理事長



(右から)

酒井 謙介 一般財団法人東京マラソン財団
経営企画室長

伊藤 静夫 一般財団法人東京マラソン財団
理事長

渡邊 一利 笹川スポーツ財団／日本スポーツ
ボランティアネットワーク理事長

中島 光 笹川スポーツ財団 常務理事



当日は調印式に加え、東京マラソン財団・JSVNが共催する「スポーツボランティア研修会」も行われました。